

学術シンポジウム フランス文学とマネ

Littérature française et Édouard Manet

日時：2026年9月12日（土）10:00-16:30

会場：東京外国語大学府中キャンパス
留学生日本語教育センター1階「さくらホール」

参加無料
事前登録不要
対面のみ

〈午前の部 10:00-12:00〉

「影響力のある批評家」の肖像

—テオフィール・ゴーティエのマネ評価
とその変容

井口俊（東京外国語大学）

すべてを見て、すべてを描く

—ゾラのテクストにおける「外光」の反映

福田美雪（青山学院大学）

関係論的リアリズム

—デュランティのマネ論（仮題）

實谷総一郎（東京大学）

〈午後の部 13:00-16:30〉

屹立しない男性のポートレート

—マネ、カイユボット、マラルメ

熊谷謙介（神奈川大学）

自然主義文学と「印象派」美術の 結節点としての娼婦表象

—ユイスマンスとマネ

安達孝信（中央大学）

色斑から^{パン}面へ

—プールのゾラ批判と《ミス・
サクリパン》

荒原邦博（東京外国語大学）

全体討議

主催：東京外国語大学 言語文化学部フランス語専攻

共催：東京外国語大学 総合文化研究所

：科学研究費助成事業 若手研究「エドゥアール・マネによる共和主義者
たちの肖像—制作、展示、受容の相互作用」（26K15859）

お問い合わせ先：井口俊（東京外国語大学） iguchi@tufs.ac.jp

東京外国語大学府中キャンパス 構内マップ



- ① 正面入口（西武多摩川線多磨駅から徒歩5分）
- ⑤ 円形広場
- ⑩ シンポジウム会場
（留学生日本語教育センター1階「さくらホール」）